

1. スポーツ振興について

総合型地域スポーツクラブについて

平成11年度第2回定例市議会にあたり一般質問をさせていただきます。市長並びに教育長の明快かつ前向きな答弁を期待するものであります。

それでは最初に総合型地域スポーツクラブについてお伺いいたします。文部省では平成7年度より総合型地域スポーツクラブモデル事業を全国16地区で実施し、3年間の事業がすでに終了したところもあります。また、日本体育協会及び香川県教育委員会においても平成9年度から同様のモデル事業を実施しているところでもあります。この事業は現在行われている小学校、中学校、高校の成長期における一貫性のないスポーツ指導による弊害、有資格指導者の活用、生涯スポーツの振興を目的としています。また、スポーツ振興くじが平成12年に実施されることになっていますが、地域コミュニティに寄与するため、その収益金を地域スポーツの振興にあて、全国に一万のスポーツクラブとその拠点施設を整備することとしています。しかし、このモデル事業は高松市においては実施されていません。この事業を希望した団体もあったと仄聞していますが、このモデル事業に参加しなかった理由と今後の対応をお聞かせ下さい。また、現在のスポーツ指導は小学校、中学校、高校、社会人と成長していく上で指導に一貫性がなく、指導が競技指向に走ったり、進路によっては希望のスポーツが出来ないなどの問題が発生しています。成長期におけるスポーツ指導のあり方についての教育長の考えと今後の課題についてお聞かせ下さい。

夜間照明について

次に夜間照明についてお尋ねいたします。小学校、中学校における学校施設開放事業は、地域におけるスポーツの振興に大きく寄与しているところです。社会スポーツの施設が不足している現在、学校が利用しない時間帯を利用した開放事業は今後益々進めていかなければならないと思います。仕事や学校が終わった後、スポーツを楽しむとするとどうしても夜間照明が必要になってきます。特に冬場は日没までの時間が少なく、夜間照明なしには活動できないのが実情です。そこで小学校、中学校における現在の施設数、照度、利用対象団体についてお聞かせいただくと同時に、夜間照明の5年、10年前と現在との利用状況の推移についてもお聞かせ下さい。また、夜間照明の利用について、市民ニーズに対応できていないということも仄聞しており、照明が暗すぎる、競技によっては冬場も開放してほしいなどの声が聞こえてきます。そこでお尋ねいたします。小学校、中学校の照度アップについての計画があるか、また冬場のスポーツ競技への学校開放の対応についてお聞かせ下さい。また、南部運動場は一部を高松一高の野球部が利用していますが、以前から高松市スポーツ振興事業団の会議においても社会体育施設である同施設を一高が使うことについての問題点が指摘されています。その解決策としては、一高の校舎の改修を進める中で運動場を少しでも広くし、野球も練習可能にすると仄聞しております。そこでお尋ねいたします。今後の一高のグラウンド整備計画について、夜間照明も含めどのように進めていくのかお聞かせ下さい。

東部運動公園（仮称）整備事業について

次に東部運動公園（仮称）の整備についてお尋ねいたします。東部運動公園は公式競技利用とトレーニング・レクリエーションスポーツ双方の利用が可能な運動公園として、健康作り・交流活動に貢献し、広く市民に開かれたスポーツ拠点の形成が図れる

よう整備することになっています。そして私は平成9年3月議会において上物建設までの活用策及び、市民が使える運動広場としての開放の考えについてお尋ねいたしました。そして、市長は基盤整備後の施設整備の期間等を見直す中で、公園として開放できる場所と運動等、多目的広場として市民に開放できる場所、それぞれの管理運営等を慎重に検討し、対応してまいりたいと存じます。と答弁されました。そして3月議会には16億6千万円余の予算が計上され、基盤整備が進んでいることと存じます。そこでお尋ねいたしますが、東部運動公園の整備状況をお示し下さい。そして、経済状況が厳しいことから基盤整備後は網走市が行っているスポーツトレーニングフィールドのような、広く県外の大学のクラブや企業のクラブも合宿等に利用できるような活用計画を策定すべきと考えますが市長のご所見をお聞かせ下さい。

2. 情報化システムの対応

小中学校へのインターネット導入状況と今後の計画について

次に小中学校へのインターネット導入状況と今後の計画についてお尋ねいたします。インターネットの普及は目を見張るものがあり、情報化社会を整備する上で、インターネットへの対応は避けては通れない課題であります。インターネットは情報の宝庫であり、コミュニケーションの場でもあります。アメリカの学校のホームページを見て、イーメールを送ったら返事が返ってきたのでイーメールを利用した交流をしていこうと思うという話も聞きます。イーメールを利用すると低料金、短時間で多数の相手に文章の発送も出来るので大変経済的である上、ペーパーレスなので環境にやさしくなります。仄聞するところによりますと小中学校17校にインターネット設備を整備する計画があるようですが、どの学校にどのような設備をするのか具体的に整備計画についてお聞かせ下さい。また、その他の学校については計画を持っているのか、方法と時期をお聞かせ下さい。

香川県情報化推進機構への対応について

次に香川県情報化推進機構への対応についてお尋ねいたします。香川県情報化推進機構は県域のバランスの取れた情報化の推進と県民が容易に情報を受発信するための普及啓発を目的に運営されてきましたが、香川県の新行政改革大綱に廃止の検討が盛り込まれたことから同機構が経営するインターネット接続サービス及び県域パソコン通信ネットワーク「かがわネット」が平成12年9月30日をもって廃止されることになりました。本市は地域情報ネットワーク整備・運営事業に参加してきておりますが、廃止後の本市の対応についてのご所見をお聞かせ下さい。

株式会社ケーブルメディア四国が計画しているインターネットサービスについて

次に株式会社ケーブルメディア四国が計画しているインターネットサービスについてお尋ねいたします。株式会社ケーブルメディア四国は平成8年10月に創業以来、本市も出資した第3セクター方式で経営され、順調に加入者を増やし、平成11年5月末現在25,624世帯が加入し、全世帯の20%に達しています。高松市議会も議会中継をするなどCATVを利用した開かれた議会に一役をかっていただいています。また市政情報の提供や本市の身近なニュースも提供され、市民生活にはなくてはならないものになりつつあります。そして、本年秋にはインターネット接続サービスも開始されることになっていると仄聞しています。しかし、市内全域には通信網が整備されておらず早く私たちの地域にも引いてほしいという声が聞こえてきます。そこでお尋ねいたします。

未整備地域の整備計画についてお聞かせ下さい。また、インターネット接続サービスにも補助金を出していますが、このサービスの概要について具体的にお聞かせ下さい。

3．親水公園及び植物園の整備について

次に親水公園及び植物園の整備についてお尋ねいたします。御殿水源地付近には毎日水鳥が群がり、美しい川、自然の残る山があり、朝、夕は市民の憩いの場となっています。市役所から車で十分以内のところにこんな自然を残した、すばらしい町があります。そして大正時代の面影を残す文化財に指定された水道資料館は香東川とすばらしいコントラストをかもし出しています。東京の多摩川には多摩川の流れを模した親水公園が整備され、休日は家族でにぎわっています。自転車のまま水の中を走れたり、はだしになってじゃぶじゃぶ見ずと戯れるうれしそうな子供の表情が目には浮かびます。水道資料館で水の大切さを学び、安全に水と親しみながら楽しめる施設の必要性を感じます。この地に親水公園を整備してはいかがでしょうか。また、高松には植物園がまったくありません、水生植物も見られる植物園の整備にもうってつけと思います。絶滅しつつあるメダカやアカマツを飼育することも出来ます。そこでお尋ねいたします。水道資料館とマッチングさせて御殿浄水場及びその周辺での親水公園、植物園を整備することについてのご所見をお聞かせ下さい。

4．道路の整備について

次に道路整備についてお伺いいたします。都市計画道路木太鬼無線は御殿橋東詰までは供用しているものの、御殿橋以東については本年度から整備にかかるのとことです。今後の計画についてお聞かせ下さい。また、郷東橋から中森橋までの香東川東岸の道路は御殿橋以北については拡幅整備が進行していますが進捗状況をお聞かせ下さい。また、御殿橋以南についても早急に拡幅整備していく必要があると考えますが、今後の計画についてお聞かせ下さい。次に高松海岸線についてお尋ねします。高松海岸線の2号堀の整備が完了し、あと交通の流れが悪くなっているのは城内中学校付近のコトデンとの交差点付近であります。この道路は交通量も多く、高松市にとっても幹線道路として大変重要であります。私は出来るだけ早くこの付近の整備を進める必要があると考えますが、コトデンの連続立体交差事業との関連もありますので、事業の見とおしがどうなっているのかお聞かせ下さい。

5．観光問題

新しい観光スポットの開発について

次に観光問題についてお尋ねいたします。昭和63年の瀬戸大橋開通による大幅な観光客の増加のいわゆる瀬戸大橋ブームが去ったあと平成8年度に一時的な増加はあったものの、現在も観光客の減少に歯止めがかかっておりません。昨年11月には高松観光振興計画が策定され21世紀の幕開けとなる2001年を目途に短期的施策、2010年を目途とした中長期施策を展開することとなっています。この計画の中には高松における現状調査も述べられていて、全国的に見て観光地としての魅力が失われていることが如実に現れています。四国地方で立ち寄りたい観光地、宿泊したい観光地に高松市は出ていませんし、市内の旅行エージェントに対する意見聴取でも支店経済の町で観光地ではない。サポート高松は観光拠点として見るとマイナー、地元の人を楽しむところで良い。また、栗林公園や屋島は来て見て良さがわかるが、聞いた段階でのブランドになっていない。など本市観光の現状が浮き彫りになっています。し

かし、観光産業は総合産業であり、21世紀における基幹産業のひとつであると私は思います。本市はこれまで同様観光産業振興に対する努力を積極的に進めていかなければならないと思います。そして地域の祭りやイベントなどを手がかりとした新しい観光資源の発掘や開発をしなければならないと思います。今までの観光振興施策では大きなインパクトを与えることは出来ませんし、全国的にも注目されるようなことはありません。高松はこんな町、高松に行けばこんなことがあるといわれるような思い切った施策を展開する必要があると思います。そこでお尋ねいたしますが、市長がこれまで展開した観光振興施策を具体的にお示しいただくと同時に問題点、今後の施策についてお示し下さい。また、全国規模のイベントの誘致などの計画があればお聞かせいただきたいと思います。

宣伝活動、観光企画について

最後に宣伝活動、観光企画についてお尋ねいたします。観光客誘致には宣伝活動も非常に大切です。テレビスポットなどマスメディアの利用も効果的と考えます。現在実施している宣伝活動について具体的にお示しいただくと同時に、その効果についての市長の見解をお聞かせ下さい。北海道の稚内市は市も補助金を出し、東京から2万9千8百円でカニ食べ放題という航空運賃、宿泊費も含んだパック旅行を企画しています。この企画には観光客増加に大きな効果が出てきています。ちなみに四国からは3万9千8百円だそうです。大都市圏の住民が四国観光に期待しているのは温泉、グルメ、自然体験だそうですので、地元企業や旅行業者とタイアップしての観光企画も必要かと思います。そこで伺いいたします。本市観光の振興を図る上でどのような企画をしているのかお聞かせいただきたいと思います。また、今後の計画があれば合わせてお聞かせ下さい。以上で私の一般質問を終わります。ご静聴誠にありがとうございました。